

令和6年4月1日

お客さま 各位

帯広信用金庫

組織変更およびDX戦略の策定について

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

DX（デジタルトランスフォーメーション）を始めとした昨今の情報通信技術の進展に伴い、DXを活用した取組みを検討し、企業や個人のニーズに合わせて金融サービスを高度化・多様化させていくことを目的として、令和5年1月1日付で経営企画部内にDX戦略推進室を設置しています。

経営企画部内にDX戦略推進室を設置し1年超が経過しておりますが、DX分野は当金庫内部業務に留まらず、取引先支援の一環としても重要性が高まっており、特に労働力人口の減少や働き方改革などの地域が抱える課題解決手法として有効です。DX部門の組織横断的な管理・統制を強化し金庫および取引先のDXを推進するため部内室から部へ昇格し体制整備を図るものです。

今般の組織変更により、当金庫は10部5室体制になります。

また、DX推進部の設置に伴い、『帯広しんきんDX戦略』を策定いたしました。今後は、本戦略に掲げている内容をDX重点戦略として取り組んでまいります。

記

1. 設置部門：DX推進部（昇格前 経営企画部DX戦略推進室）
2. 設置時期：令和6年4月1日付
3. 設置目的
 - (1) DXの取組みを金庫内において主導し、業務の効率化はもとより顧客満足度の向上に資する。
 - (2) 業務の効率化により収益力の強化並びに働き方改革の推進を図る。
4. DX戦略：下記のとおり

豊かな十勝の未来のために



帯広しんきんDX戦略

- ・当金庫は十勝地域の活性化と事業者経営基盤の持続的な発展を伴走支援するために、コンサルティング機能の充実に取り組んできました。
- ・近年はデジタル技術の発展が著しく、お客様・地域のビジネスモデルや当金庫の使命にも大きな変化をもたらしつつあります。
- ・当金庫全役職員が変革意識を高め、行政ならびに各機関との連携体制を構築し、デジタル技術の活用を含めたDX（デジタルトランスフォーメーション）の取組を加速させていくことで、お客様・地域にとって必要とされ続ける金融機関を目指します。

令和6年4月1日

帯広信用金庫 理事長 高橋 常夫

当金庫のDXの歩み

デジタルトランス
フォーメーション
(DX)の実現

経営企画部 DX戦略推進室 (2023)

- 事業者向けポータルサイト (ケイエール)
- 顧客データ分析ツール (しんきんDB) の導入
- 業務ツールの作成・見直し・各種デジタルツール調査
- デジタル推進委員応募・DX関連セミナー・勉強会開催

DX推進部 (2024~)

- 非対面サービスの拡充に向けた取組み
- 事業者DX支援への取組み
- AI活用や業務ツール見直しによる職員の生産性向上
- DX人材の育成

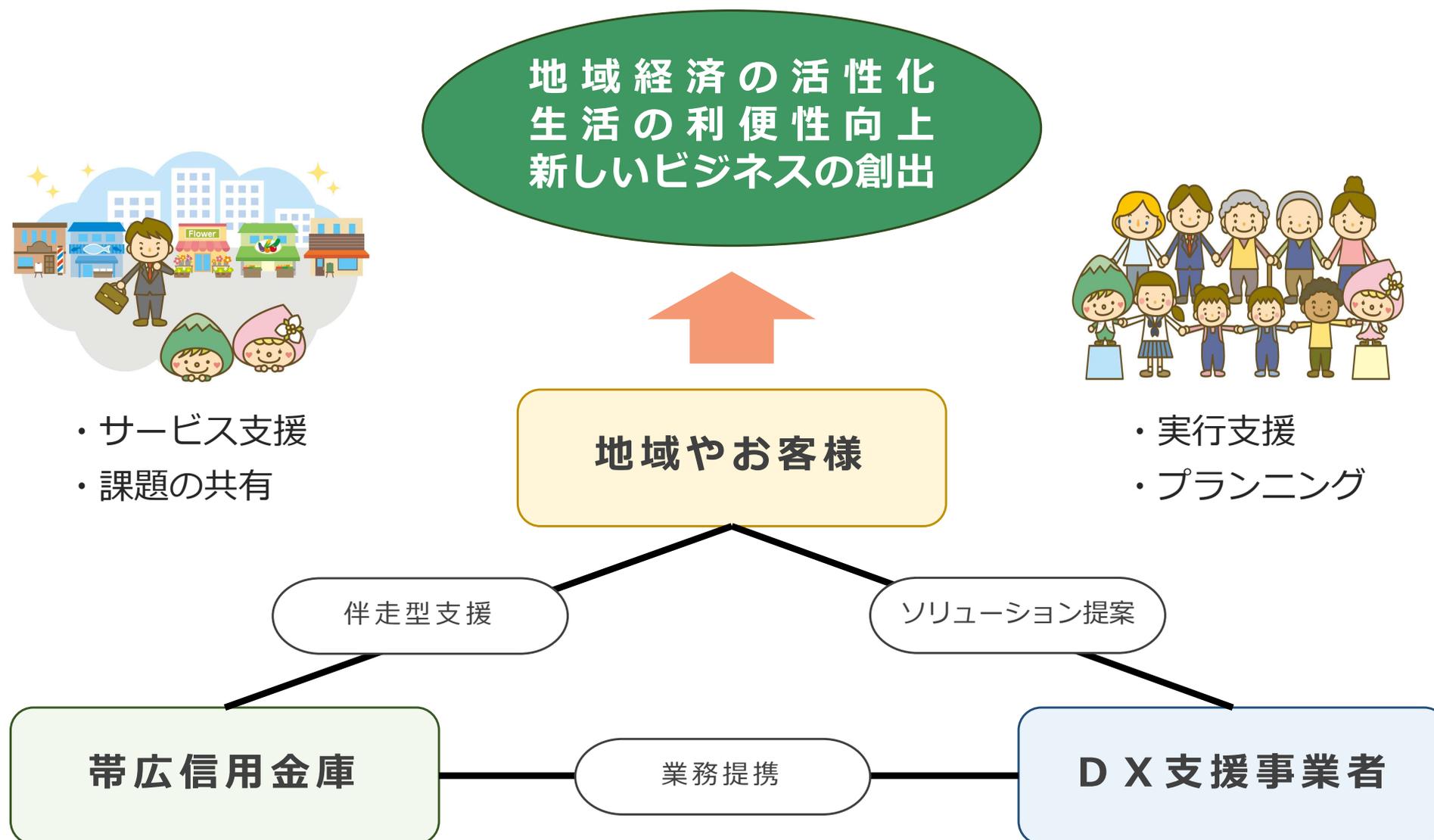
経営企画部 (2020~2022)

- 汎用ワークフローシステムの導入 (2022)

業務改革推進部 (2018~2020)

- 各種管理簿の電子化 (管理表統合システム導入 (2018))
- エリア制の導入・定型約款の電子化 (2019)
- マルチスキャナの導入・融資稟議書の電子ワークフロー化 (WEBオンラインシステム機能拡充 (2020))

D X 支援のイメージ



DX重点戦略

DX重点戦略①～お客様のDX支援

デジタル変革による新たなサービスの提供とお客様の利便性の追求

- 非対面サービスの拡充
- 新たなデジタルサービスの提供
- 本業支援による事業者DX

DX重点戦略②～金庫内DXの取組み

持続可能なデジタルビジネスモデルの構築と生産性の向上

- AI・デジタルマーケティング・データ分析技術の活用
- 生産性向上への取組み
- お客様との新たな接点の創出

DX重点戦略③～DX人材の育成

DXを推進する人材の育成

- デジタル分野の推奨試験
- デジタル分野への意識醸成